

2018（平成30）年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

1 事業の総括

当団体は、藤沢のまちづくりを進めるべく、市民活動団体の組織基盤強化や活動支援、ステップアップのための方策を考え、様々な市民活動支援事業を展開してまいりました。

各支援事業が、藤沢に、そして時代に必要なものと考え、バランスを取りながら事業を進めてまいりましたが、団体設立20年（※）という節目にあたり、事業全体を俯瞰し、選択と集中を図る時期に来ていると考えます。※1998年設立、2001年法人登記

2018年度、以下に挙げる事業を重点的に展開する中で、事業考察を含め報告をさせていただきます。

（1）市民活動の発展と継続のための支援を実施する。

市民活動団体の活動の場の提供として、引き続き「藤沢市市民活動支援施設（本館：市民活動推進センター、分館：市民活動プラザむつあい）」の管理運営をお任せいただくことが決まり、第4期指定管理運営1年目（5年間）となりました。市民活動の発展と継続のための支援として、それぞれの施設の特性を活かした市民活動支援をしていきます。

同じく場の提供事業として昨年度準備していた、貸会議室「フジサワラボ」（当団体事務所の別階）がスタートしましたが、1年間の運営を通してみると、収益化については見通しがない状況であり、次年度の本事業の継続可否については検討をしています。

市民活動の発展には、自分のまちのことを「自分事化」する必要がありますが、そのためには課題・問題を解決するためのアイデア・提案をする「場」が必要になります。

2017年9月に事業終了した「藤沢市市民電子会議室（愛称：こみゅっとフジサワ）」は藤沢市における市民提案制度を担う存在として、ウェブ上のオンライン掲示板サービスとオフライン交流会等の運営を20年近く展開し、市民提案が数多く実現している実績があります。

当団体は「市民電子会議室」における市民提案の仕組みを研究するため、「フジソン（フジサワ・アイデアソン）」を企画、実施をすることで、市民の意見・アイデア等の「想い」をカタチにする方法を検討しています。次年度以降も、本企画をブラッシュアップして進めてまいります。

(2) 市民活動への参加機会を拡充すること、またそれに伴う調査・研究を実施する。

若者・現役世代・シニア世代等様々な層への参加アプローチを強化しました。

学生等に向けた NPO インターンシップ事業は 5 年目を迎えました。すでに様々な地域において本事業が周知されており、今年度は他地域から本プログラムの活用に関してご相談や、事業の集大成というべき運営ノウハウをまとめた報告書を発行する等、藤沢だけの実施ではない広がりを見せています。

また、当団体が神奈川県総合計画の一つである「人生 100 歳時代の設計図」における「かながわ人生 100 歳時代ネットワーク」のメンバーとして参画する中で、企業で働いている現役世代に向けた支援プログラムの開発事業を単年度委託しました。市民活動や地域活動への参加のきっかけとして、次年度以降の継続的な実施を検討しています

「藤沢市まちづくりパートナーシップ事業提案制度」において、藤沢市と協働事業で進めている「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」運営事業により、全世代に向けた市民活動への参加機会促進につなげることができました。

※かながわ人生 100 歳時代ネットワーク

「人生 100 歳時代」において、県民一人ひとりが自分自身の人生の設計図を描き、生涯にわたり輝き続けることができる社会を実現するため、行政、大学、企業、NPO 等が連携し協働して、学べる場や機会を「つくり」、また、活躍できる場に「つなげる」しくみを創出します。

(県 HP より抜粋) http://www.pref.kanagawa.jp/docs/r5k/100yife/life_network.html

(3) 非営利組織の評価に関する研究と、評価による支援を実施する。

非営利組織を取り巻く状況の変化の中で、ひと際大きな動きを見せているのが、「休眠預金の活用」です。同制度の重要なポジションである、資金活用団体(※)が決定されたことも記憶に新しいでしょう。(2019 年 1 月 11 日)

制度がスタートする中で、制度を活用する市民活動団体は、申請する前、または活用した後、自組織の組織基盤・ガバナンスを内外に示さなければいけない時期がいよいよ訪れます。そこで重要になってくる「組織診断」のツールが今年度、ついに形となりました。

「自己診断シート「17 の視点」)と呼ばれる本ツールは、(一財)非営利組織評価センター(JCNE)との連携事業により完成しました。

※（一財）日本民間公益活動連携機構（JANPIA）

2018年1月1日に休眠預金等活用法が全面施行されたことに伴い、同法に定める指定活用団体となることを企図して、同年7月に（一社）日本経済団体連合会（経団連）により設立し、資金活用団体に選定された。<https://www.janpia.or.jp/>

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」に基づく指定活用団体の指定について（内閣府 HP より）

https://www5.cao.go.jp/kyumin_yokin/katsuyou/katsuyou_index.html

本事業報告書では、各団体の法人格は、略称で表記しています。

(NPO法人)	-----	特定非営利活動法人	(認定NPO法人)	---	認定特定非営利活動法人
(公財)	-----	公益財団法人	(一財)	-----	一般財団法人
(一社)	-----	一般社団法人	(株)	-----	株式会社
(有)	-----	有限会社			

2 事業の内容

(1) 市民活動団体等の組織運営および活動支援に関する事業（支出額 3,212,722 円）

ア 市民活動団体等への団体交流の場の提供

小規模交流会である「NPO交流サロン」や大規模交流会「クリスマス交流会」、「かながわイーパーツリユースPC寄贈プログラム(後述)」における寄贈式等、交流の場を計5回開催し、市民活動団体同士、また教育機関、企業など他セクターとのつながりを推進した。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市市民活動推進センター、藤沢市役所本庁舎、さがみはら市民活動サポートセンター
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者・興味のある市民

イ 市民活動団体等の活動における共通の課題についての研修会の開催

市民活動団体の活動における共通の課題について、通年実施している活動支援関連講座（NPO マネジメント講座）を5回、PC 関連講座（IT サポート講座）を11回実施した。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市市民活動推進センター
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者・興味のある市民

ウ 地域版組織診断システムの運用

昨年度に引き続き、組織診断ツールを活用した事業化に向けてツール作成を進めた。加えて、(一財)非営利組織評価センター(JCNE)よりA「組織基盤強化ツールの開発と普及に関する業務」及びB「地域におけるグッドガバナンス認証制度普及促進プログラム業務」を委託することで、組織診断ツール(自己診断シート「17の視点」)の作成及び試験運用を進め、実用化に向けて動き出している。

A「組織基盤強化ツールの開発と普及に関する業務」

藤沢を含めた5地域の間接支援組織と、同地区で活動する非営利組織に向けて、当会が作成した「17の視点(試作版)」の使用感等を調査した。

B「地域におけるグッドガバナンス認証制度普及促進プログラム業務」

2019年2月16日、藤沢地区においてJCNEの認証制度説明会を実施・運営した。説明会の他、「非営利組織の評価」に関連する情報の提供等を行った。

- ①日時 年間随時
- ②場所 藤沢市市民活動推進センター、フジサワ名店ビル、各組織事務所等
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 組織診断演習実施NPO法人、市民活動団体関係者

エ 市民活動団体等への人材派遣による活動支援事業

(一社) 協働プラットフォーム委託事業「Web ラジオちよだに関する制作支援業務」を委託し、法人事務所や JR 神田駅インフォメーションセンター内神田駅ナカスタジオ等において、Web ラジオ番組の企画・取材・制作支援業務を行った。(単年度事業)

- ①日時 平成30年10月1日～平成31年3月31日
- ②場所 支援団体の活動場所および事務所
- ③従事者人員 1名
- ④受益対象者 ラジオリスナー、東京都千代田区神田近辺の非営利組織

オ 市民活動団体等への物品等の寄贈による活動支援事業

市民活動団体への情報化支援及び市民活動団体を支援する組織の支援力向上を目的に、「認定 NPO 法人イーパーツ (東京都)」と神奈川県内 NPO 支援センター (※) が協力し、リユース PC 寄贈プログラムを実施。当法人は、神奈川プログラム運営事務局として各組織との調整等を行った。募集：年間 1 回、寄贈 PC 数 55 台、寄贈団体 44 台、寄贈式&講習会 1 回

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内会議室他、相模原市けやき会館 研修室
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 市民活動を行っている者・市民活動支援に興味のある者

参考：プログラムに参加しているNPO支援センター一覧（参加順）

藤沢市市民活動推進センター、ちがさき市民活動サポートセンター
 おだわら市民交流センターUMECO、大和市民活動センター
 座間市民活動サポートセンター、ひらつか市民活動センター
 市民活動センターあやせ、さがみはら市民活動サポートセンター
 鎌倉市市民活動センター、逗子文化プラザ市民交流センター
 いせはら市民活動サポートセンター

カ 市民活動団体等への財政支援による組織基盤強化事業

市民活動の財政的支援を目的に、クラウドファンディングサイト「FAAVO 湘南」の運営を行い、7,365,039 円の資金調達を支援した。起案する団体にとっては、財政的側面だけではなく、組織内の経営資源を棚卸しすることになり、基盤強化としての成果を感じ取れた1年となった。運営会社の変更により、寄付型・購入型、が扱えるようになり今後は寄付型の需要取り込みを課題として捉えている。

- ①日時 年間
- ②場所 支援団体の活動場所および事務所
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者、またその支援者、関心のある市民

参考：FAAVO湘南支援プロジェクト内訳

起案者	支援金額	達成率	支援者	開始	期限
みんなでつくる逗子海岸花火大会 実行委員会	258,000	25%	64人	2018/4/8	2018/5/25
星山プロジェクト	1,459,000	29%	115人	2018/5/15	2018/7/28
逗子アートネットワーク (ZAN)	2,072,000	103%	267人	2018/8/7	2018/9/28
NPO 法人アズヴェール藤沢スポーツ クラブ	1,405,500	46%	169人	2019/2/1	2019/3/15
(株) カヤック「まちの保育園 鎌倉」	2,170,539	108%	124人	2019/1/23	2019/3/15

キ SAVE JAPANプロジェクト(希少生物保護活動団体支援プロジェクト)

全国の希少生物が生きやすい環境を作る活動を全国で展開している「損保ジャパン日本興亜(株)(東京都)」と「認定NPO法人日本NPOセンター(東京都)」との協働事業の神奈川県実施事業として、「(N) ゆい(神奈川県茅ヶ崎市)」を3年間サポートしている。2018年9月までは2年目の活動として実施し、茅ヶ崎漁港周辺にて砂草の植栽会を2回開催した(2018年5月12日(土)23名参加、6月9日(土)75名参加)。2018年10月からの3年目は、同会場での植栽会(11月10日(土)51名参加)、2019年2月23日(土)に名店ビルにて「湘南海岸カントリーコードを考える交流会」(44名参加)を実施した。

- ①日時 年間
- ②場所 支援団体の活動場所および事務所
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 公益的な市民活動を行っている団体と参加市民

ク 災害復興活動団体への支援事業

市内各種イベント内での被災地製作グッズ等の頒布を通じて支援金をお預かりし、その資金を元に 8 台(※1)の PC を整備・再生を行った。平成 30 年 7 月豪雨被災地も加えた復興支援物産市として被災者や被災事業者の食品や雑貨の販売(※2)を通じた被災地支援を実施。レンタルボックス「おはこ」(年間)での委託販売を実施した。

また、平成 30 年 7 月豪雨に際しては、全国中間支援組織のネットワークを活かし、岡山・広島に当団体職員を派遣し、現地の災害ボランティアセンター運営支援等を実施した。

- | | |
|--------|--|
| ①日時 | 年間 |
| ②場所 | (株)有隣堂トレアージュ白旗店、レンタルボックス「おはこ」、
ゆくり庵、藤沢市市民活動推進センター、各イベント会場
倉敷市災害ボランティアセンター、NPO法人岡山NPOセンター事務所
広島市災害ボランティアセンター |
| ③従事者人員 | 4名 |
| ④受益対象者 | 復興支援事業に興味があり、公益的な市民活動を行っている又は
興味のある団体(※)と個人 |

※1：寄贈団体(4 団体)

- | | |
|------------|------------------|
| ・はっぴーあいらんど | ・NPO 法人 ancommon |
| ・長後自治会 | ・三富士町自治会 |

※2：取引先団体一覧

- ・NPO 法人応援のしっぽ・(一社)つむぎや・たみこの海パック
- ・(有)コンテナおおあみ・(株)ガールズライフラボ
- ・南三陸復興ダコの会・(株)みなり・(株)瀬戸内ジャムズガーデン
- ・(株)ジョンブル・(株)気仙沼ほてい

ケ 各種市民活動助成金審査会への参加協力

市民活動団体へ財政的支援を実施している組織への協力(審査会等への参加、アドバイス等)を行った。

- | | |
|--------|-----------|
| ①日時 | 年間 |
| ②場所 | 助成組織の事務所他 |
| ③従事者人員 | 4名 |
| ④受益対象者 | 各種助成組織(※) |

※参考：参加助成プログラム等

- ・(公財) かながわ生き活き市民基金・大和証券フェニックスジャパン・プログラム
- ・タケダ・赤い羽根 広域避難者支援プログラム・中央ろうきん社会貢献基金
- ・公益信託ひらつか市民活動ファンド・綾瀬市・相模原市・二宮町・藤沢市

(2) 市民活動および市民活動支援に関する調査研究・情報発信事業 (支出額 927,783 円)

ア 関連情報の収集と発信事業

本年度は、市民活動促進に関する情報を3,042件(※1)収集し、ホームページやメールマガジン等、様々な媒体を活用し、9,660件(※2)発信を行った。

引き続き、レディオ湘南(藤沢エフエム放送株式会社)の「palette～湘南ライフをあなた色に～」内において、当法人紹介番組「NPO café」による情報発信(51回)を行った。また、2016年度から放送が始まった本番組は通算150回を超えて、定着してきたように思う。

- ①日時 年間随時
- ②場所 情報の届く範囲
- ③従事者人員 10名
- ④受益対象者 市民活動に興味のある者

※1：収集情報数：3,042件

※持込形態内訳

来館：537件、郵便：1,844件、庁内メール：260件、FAX：3件 Eメール：27件
スタッフ持込：371件

※情報形態内訳

団体PR 255件、発行物 1,206件、イベント 1,297件
ボランティア募集 15件、NPO支援情報(助成金等) 252件、その他 17件

※2：情報提供数：9,662件

※内訳

情報ラック 1,648件 掲示板 1,300件
ファイリング 2,760件 メールマガジン 444件
HP(イベント情報) 1,302件 ニュースレター 217件(NPO支援情報)
情報クリップ 182件(イベント情報、募集情報等) タウンニュース掲載 12件
市民活動コーナー 1,632件(17団体×年間6回×16箇所(市民センター・公民館))
ボランティア情報 20件(ボランティアーズ 22号)
ウスイホーム(株)発行情報誌への藤沢地区イベント情報提供 94件
レディオ湘南「palette」による情報発信 51回(※)

※法人自主事業紹介、市民活動団体紹介、市民活動支援施設事業紹介等

イ 市民活動・社会貢献活動に関する調査

①事業評価の活用状況に関する調査

藤沢市市民活動推進センター事業の一環として、「2018（平成 30）年度事業評価の活用状況に関する調査」を推進センターに登録する 493 団体および、市内に主たる事務所を置く NPO 法人 106 法人を対象に実施した。※

※但し、493 団体のうち藤沢市内に主たる事務所を置く特定非営利活動法人は 100 法人を含む。（2018 年 9 月 29 日現在）、また、藤沢市内に主たる事務所を置く特定非営利活動法人は、2018 年 8 月 1 日現在の内閣府 NPO 法人ポータルサイトより抜粋した。

参考：<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/search>

②市民提案制度の運用に向けての検証

『2017（平成 29）年度「市民提案制度」の運用に向けた研究実施報告書』に、“バーチャル”と“リアル”な空間を活かした市民提案制度の必要性を説いた。その中でも特に、リアルな場としてモデルとすべき、まちづくりの取り組みの 1 つに（N）カマコン（神奈川県鎌倉市）が実施している「カマコン式ブレスト（※）」がある。

「カマコン式ブレスト」をもとに、藤沢らしさを加味した取り組みとして、今回、「フジソン（フジサワ・アイデアソン）2018」を実施し、4 名がアイデアを発表した。

※まちを活性化するためのアイデアを発表し、ジブンゴトとして、発表に対し更なるアイデア出しを行う仕組み

No.	氏名	所属	提案名
1	島田 博之 氏	(N) 幼児武道教育振興会理事長	開かれた保育園（保育園を中心とした街づくり）
2	加藤 葉子 氏	ワークショップラボ湘南代表	ふじさわイネ！基金
3	林田 繁雄 氏	弥勒寺町内会会長、 弥勒寺夢クラブ会長	名前があったら素敵だな
4	半田 拓也 氏 (ゴリラせんせい)	紙芝居師・保育士	紙芝居で藤沢に笑顔を！ ～紙芝居師ゴリラせんせい～

③市民活動支援に関する研究

昨年度同様、他市NPO支援センターへの職員出向により、藤沢で培った市民活動支援のノウハウ移転手法の構築及び市民活動支援に関する研究を行っている。

- ①日時 ①2018年10月10日(水)～2018年11月10日(土)
 ②2018年10月1日(月)～2018年12月15日(土)
 ③年間
- ②場所 ①及び②藤沢市内、③逗子文化プラザ市民交流センター
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 市民活動団体および市民

ウ 市民活動関連研修会への参加・出席・協力および視察受け入れ

市民活動支援力の向上に必要と思われる研修に年間22回参加した。また、民間中間支援組織をはじめ、行政関係者など6団体(※)の視察を受け入れた。

※宇都宮市まちづくりセンター(管理運営：(NPO法人)宇都宮まちづくり工房)、(NPO法人)ひろしまNPOセンター、いわくに市民活動センター、片瀬市民センター、片瀬地区人材・情報バンクセンター、(NPO法人)こまつNPOセンター

- ①日時 年間随時
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 スタッフ、市民、中間支援組織、行政、企業他

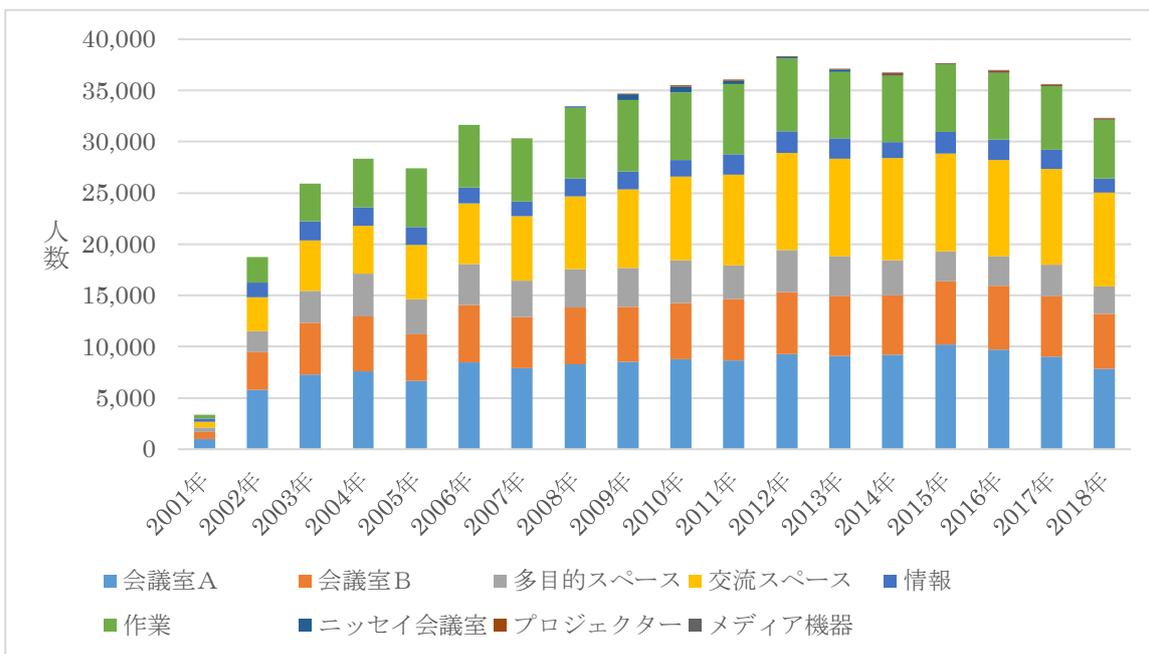
(3) 市民活動を支援する施設の管理運営事業(支出額 41,008,169円)

ア 藤沢市市民活動支援施設 本館：藤沢市市民活動推進センターの管理運営

藤沢市における市民活動支援施設を指定管理者として管理運営を行った。2017年10月17日(火)に行われた「藤沢市市民活動支援施設指定管理者公開プレゼンテーション」を経て、藤沢市より「指定管理者指定等決定通知書」を頂き、2018年4月1日から2023年3月31日までの5事業年度にわたり、当団体が指定管理者に指定された。今年度は1年目の管理運営となる。

主な業務内容：施設管理業務・活動団体登録業務・会議室貸出・フロア管理・作業機材管理・ロッカー貸出・レターケース管理・活動団体データベースの作成・活動相談業務・サポートクラブの管理運営・掲示版・配架ラックの整理・行政との調整及び報告

- ①日時 年間(開館308日)
- ②場所 市民活動推進センター
- ③従事者人員 15名
- ④受益対象者 公益的な市民活動を行っている、又は興味のある団体および個人



藤沢市市民活動推進センター利用者数及び件数

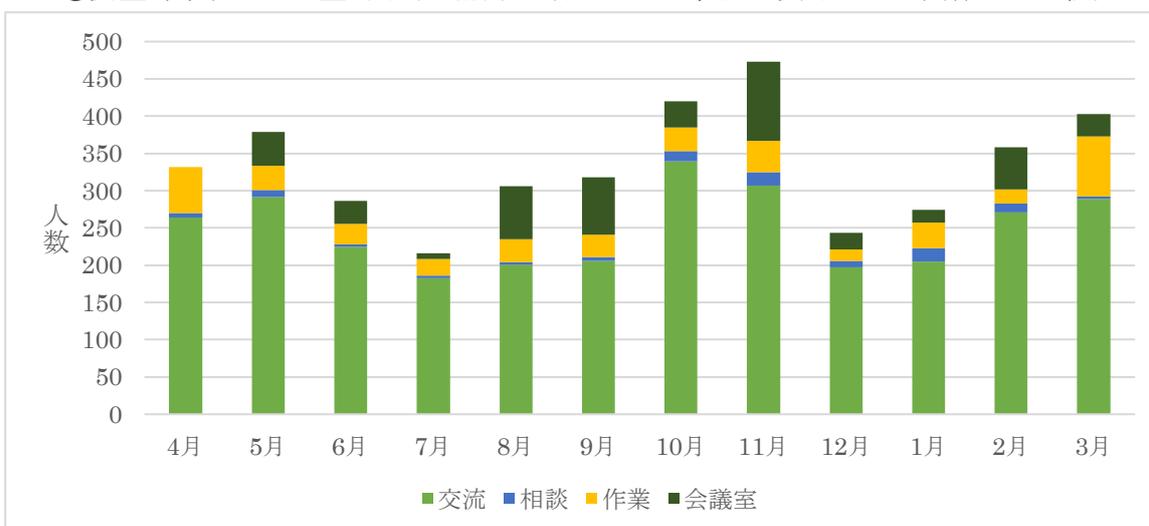
年間延利用者数：32,273人 1日利用平均人数：104.78人
 年間利用件数：9,841件 1日利用平均件数：31.95件

イ 藤沢市市民活動支援施設 分館：市民活動プラザむつあいの管理運営

上記「ア」同様に藤沢市市民活動支援施設、分館の施設管理運営を行う。

主な業務内容：施設管理業務・活動団体登録業務・フロア管理・作業機材管理

- ①日時 年間（開館308日）
- ②場所 市民活動プラザむつあい（六会市民センター 2階）
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 公益的な市民活動を行っている、又は興味のある団体および個人



市民活動プラザむつあい利用者数及び件数

年間延利用者数：4,008人 1日利用平均人数：13.01人
年間利用件数 ：1,397件 1日利用平均件数：4.53件

ウ フジサワラボの管理運営

公共施設では対応できない講座やイベント利用を考えている団体等に向けた「場」の提供を目的に、レンタルスペース「フジサワラボ」の運営を「ワークショッププラボ湘南」と協働し実施した。(利用団体 13団体、利用件数 53件)

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 市民活動を行っている者・興味のある者および一般市民

(4) 市民活動の普及啓発および推進事業 (支出額 8,379,571円)

ア 「Let's ふじさわ(IT相談コーナー)」運営支援事業

藤沢市民の IT リテラシーの向上に長年寄与してきた事業の継続を支援するため、「NPO 法人 IT サロン藤沢 (旧:IT 講師懇談会)」の事業展開をサポートし、高齢者層や青少年層への IT リテラシー向上支援を実施した。(相談会:283回開催、延べ1378名利用、新規登録46名。講座は125回開催、延べ750名利用、新規登録20名)

- ①日時 年間
- ②場所 Let's ふじさわ会場 (湘南台・辻堂)
- ③従事者人員 1名
- ④受益対象者 一般市民

イ イベント等プロデュース事業

市民参加を推進するために、藤沢市民まつりをはじめとする各種イベント等の企画へ参画した。主に学生や20代の社会人を中心とした世代を対象に、地域との継続的な関わりを持つことや市民活動に触れるきっかけづくりを目的に、ボランティア等を手段とした述べ107人の地域参画の機会提供を行った。

- ① 日時 平成30年4月1日～平成31年3月31日
- ② 場所 藤沢市内および近隣
- ③ 従事者人員 3名
- ④ 受益対象者 まちづくりに興味関心ある一般市民
- ⑤

参考：参画事業内訳

イベント名	日付	ボランティア数
イータウン・イーマルシェ@東奥田公園	毎月第4日曜日	24名
お話のプロが教える「絵本の音読」@トレアージュガーデン（有隣堂藤沢本町トレアージュ白旗店内）	毎月第3木曜日	40名
第15・16回ふじさわちよい呑みフェスティバル@藤沢駅南口	15回5月8・9日（火・水） 16回11月6・7日（火・水）	6名
湘南フラワーコーディネート展示&ワークショップ@トレアージュガーデン	7月26・27日（木・金）	3名
第45回藤沢市民まつり@秋葉台総合公園・体育館（雨天のため、室内企画のみ）	9月29日（土）	7名
第4回 粉もんフェスティバル@テラスモール前広場	10月7・8日（土・日）	7名
レディオ湘南 Shonan Autumn Fes@辻堂海浜公園	10月20・21日	9名
藤沢ビックウェーブサポーターズミーティング@農家レストランいぶき	2018年2月17日	3名
藤沢ビックウェーブ アスリートと考えるまちづくり・おもてなし@クラジャ	2018年3月9日	3名
藤沢ビックウェーブアイデアソン@日本大学	2019年3月23日	4名
フットサルフェスタ 2018 @ミズノフットサルプラザ藤沢 ※藤沢市民まつり内イベント 振替実施	2019年3月28日	1名

ウ サポートクラブの運営

幅広い市民の力を結集する仕組みとしてサポーター制度を構築し、事務局運営を行った。今年度より、7チーム制から2コース制へと変更を行い、「企画・運営コース」および「事務力アップコース」を設けてゆるやかに移行した。（アドバイザーは一定の基準があるため除く）

※サポーター95名、アドバイザー30名（2019年3月31日現在）

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 市民活動を行っている、又は行おうとする市民

エ 関連委員会、審議会への参加

市民活動の理解を促進することを目的に、藤沢市をはじめ、各行政機関の設置する市民活動関連委員会・審議会(※)に参加協力した。

- ①日時 年間
- ②場所 会議等開催場所
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 一般市民

※参考：関連委員会・審議会等

全国

- ・民間NPO支援センター・将来を展望する会
- ・ICT支援者ネットワークミーティング

神奈川県

- ・神奈川県支援施設CEOミーティング
- ・神奈川県内認定・指定ゆるやかなネットワーク
- ・地域ボランティアエアポート連絡会
- ・かながわ人生100歳時代ネットワーク会議

藤沢市

- ・藤沢市市民活動推進委員会
- ・藤沢市シティプロモーション委員会
- ・藤沢市情報公開制度運営審議会
- ・藤沢市生涯学習大学評議会
- ・藤沢市ワークライフバランス会議
- ・未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会
- ・未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会内ボランティア等市民参加推進部会
- ・公益財団法人藤沢市まちづくり協会評議委員会
- ・湘南東部地区福祉有償運送市町共同運営協議会
- ・藤沢市社会教育委員会
- ・藤沢市公民館検討委員会
- ・北部各地区郷土づくり推進会議
- ・藤沢市青少年問題協議会
- ・藤沢市民まつり実行委員会

他市等

- ・（仮称）鎌倉市市民活動推進条例検討会
- ・横須賀市市民活動サポートセンター指定管理者選考委員会
- ・文京区新たな公共プロジェクト成果検証会議
- ・NPO インターンシップラボ実行委員会

（５）市民参加によるまちづくり推進事業（支出額 8,379,571 円）

ア 藤沢市内イベント参加支援事業

他セクターとの協働を促進し、市民活動の普及を図ることを目的に、藤沢市内でのイベント（藤沢市民まつり等）を中心に参加支援を行った。機会提供などを含め、市民活動団体延べ37団体の参加を支援した。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内および近隣
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 市民活動団体およびその関係者

イ ボランティアやインターンの積極的な受入および受入協力団体の育成事業

市民の市民活動参加意識の促進を目的として、A. 「社会を知るためのワカモノ×NPO インターンシッププログラム 2018（（公財）電通育英会助成事業）」を行った。

同プログラムで培ったノウハウを全国の中間支援組織等に広げるため、B. 2015～2017 年度に実施した B 「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム（（公財）トヨタ財団助成事業）」をまとめた冊子「藤沢の流儀」の作成を（公財）トヨタ財団の助成を受け作成した。

加えて、本プログラムに興味を持っていただいた中間支援組織に対する C. ノウハウ移転支援を行った。前年に引き続き、D. 藤沢市市民活動推進センター等でのインターン受入事業を実施している。

A 「社会を知るためのワカモノ×NPO インターンシッププログラム」の事務局運営を行った。
（参加団体：12 団体、ワカモノインターン：14 名）

高校生・大学生・専門学生・大学院生からインターン（※）を募集し、約 7 か月間継続的に責任を持って NPO の活動に参加するインターンに対し、活動奨励金を助成する。

この経験を通じて、将来地域で行う公益的市民活動を担う人材が育成されること、そして地域の NPO における組織基盤の強化が進むことを期待して実施した。なお、本年度は藤沢市民活動推進センター協力のもと事業を実施した。

※高校生：80 時間以上（上限 100 時間）、ワカモノ：120 時間以上（上限 200 時間）

B「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム」ノウハウ集「藤沢の流儀」の作成を行った。

本プログラム初年度の2014年から3年間の取り組みのノウハウをまとめた冊子を発行した。藤沢の流儀として、主に3点を掲載する。

今後、本冊子をもとに他地域の間支援組織に向けたノウハウ移転を展開していく予定。

C インターンプログラムのノウハウ移転支援

「NPO インターンシップラボ (※) キックオフシンポジウム (2018年9月15日、駒澤大学)」にて、当団体が事例紹介者及び分科会コーディネーターとして参加。その際に「(N) こまつNPOセンター (石川県)」よりご相談をいただく。その後「A」成果発表会 (2019年2月16日) にお越しになり、打合せを電話やウェブツールを活用して複数回実施し、プログラムへの情報や資料提供などを行った。

※NPO インターンシップラボ実行委員会

トヨタ財団、NPO 法人アクションポート、その他学生向けのプログラムなどをやっている関東県内の組織と一緒に実行委員会が2018年4月に発足し、発足メンバーとして関わっている。

D 藤沢市市民活動推進センター等でのインターン受入事業

学生：6名 (七里ヶ浜高、神奈川大、多摩大、昭和音楽大、尚美学園大、横浜国立大)

学生以外：下記の通り

受入人数 延べ107名、受入日数109日、スタッフ延べ対応時間数 355.5時間

内 訳 藤沢キャリアセンター (パーソルチャレンジ株式会社)

延べ91名、46日間

就労以降支援事業所 LITALICO ワークス 横浜戸塚((株)LITALICO)

延べ10名、30日間

よこはま若者サポートステーション (運営：(N) ユースポート横濱)

延べ6名、33日間

- | | |
|--------|--|
| ①日時 | 年間 |
| ②場所 | 藤沢市市民活動推進センター、藤沢市市民活動プラザむつあい、各市民活動団体の活動場所等、藤沢商工会館ミナパーク |
| ③従事者人員 | 10名 |
| ④受益対象者 | 市民活動団体関係者・興味のある市民 |

ウ 社会貢献活動の推進および支援事業

社会の利益に資する活動をするものに対して研修事業等の支援を目的に、A六会人材センター運営事業、B藤沢市生涯学習大学地域活動コース「地域とつながるはじめの一步～地域活動団体のインターンにしよう！～」C「湘南台地区地域サポーター養成講座『ゆめまる地域塾』」を実施した。

A「六会人材センター運営事業（六会地区郷土づくり推進会議業務委託事業）」

地域の中の課題を共に考え、お困りごとを地域の人たちの協力によって解決策を探り進めることで、地域市民の交流を図り市民意識の活性を目指す活動。

※団体登録15件、サポーター登録35名、依頼案件12件、
マッチング21件（うち不成立2件含む）、サポーターの活動のべ156人

B「生涯学習大学地域活動コース 地域とつながるはじめの一步～地域活動団体のインターンに参加しよう！～」(藤沢市生涯学習部生涯学習総務課との連携事業)

地域人材の掘り起こしを行うほか、地域コミュニティを活性化するための人材育成を図り、継続的な活動に繋げることを目的として、全4回の連続講座を実施。第3回目は実際にボランティア活動を体験する期間として、地域活動団体インターンシップを行った。

C「湘南台地区地域サポーター養成講座（講座名称：ゆめまる地域塾）」(湘南台地区郷土づくり推進会議業務委託事業)

「参加の前に地域の仕組みを知る」「ボランティアを考える」と題し地域の事を知り、その後ボランティア概論、ボランティア体験・体験談、意見交換などを行い、地域内における活動人口を増やしていくことを目的として実施。

ボランティア体験として、湘南台子育てメッセの準備日及び当日に参加した。

- | | |
|--------|------------------------|
| ①日時 | 年間 |
| ②場所 | 藤沢市内 |
| ③従事者人員 | 8名 |
| ④受益対象者 | 社会貢献活動を行うもの、又は行おうとするもの |

エ 多様なセクターの協働によるまちづくり推進事業

個人・非営利組織・営利組織問わず、社会の利益に資する活動をするものの仲介を実施することで協働を推進し、まちづくりの推進に寄与した。

仲介者として「協働コーディネーター」を2名設置し、NPO 活動相談及び多様な主体との協働を推進するための相談対応（66件）及び「藤沢市まちづくりパートナーシップ事業提案制度」に関連したアドバイスやオブザーバー参加に参加した。

企業（※）との相談・アドバイスをを行った他、ウスイホーム（株）の発行している情報誌への藤沢地区の情報提供や、（株）伊藤園とのチャリティベンダー（社会貢献型自動販売機）設置サポートは継続して行っている。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内および近隣
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 社会貢献活動を行うもの、又は行おうとするもの

※企業相談実績

- ・ウスイホーム（株）
- ・（株）有隣堂トレアージュ白旗店
- ・花王（株）
- ・パナソニック（株）
- ・ウエルシア薬局（株）
- ・（株）HGST ジャパン
- ・オイレス工業（株）
- ・アズビル（株）

オ 地域グループ支援事業

藤沢市「高齢者の通いの場事業」として「みんなのサロン ゆくり庵」を運営し、様々なプログラムや講座を通して地域の活性化と高齢者がいきいきと暮らす街づくりに貢献した。

（登録者数：397人（内、2019年度新規登録者61人）のべ利用人数3,370人

町内会に加入して地域との連携をしている。いきいきサポートセンターや藤沢市健康づくり応援団との連携・交流を図っている。

また、地域包括ケアシステムのもと、高齢者の健康づくりのための講座を年4回開催。介護予防従事者研修や交流会・AED講習などに参加しスタッフの意識の向上を図る。

- ①日時 年間（開館217日 ※火・水・木・金・隔週土）
- ②場所 藤沢市藤沢644番地
- ③従事者人員 7名
- ④受益対象者 市民活動を行っている者・興味のある者および一般市民

カ オリピック・パラリンピックに向けた「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」運営事業

「藤沢市まちづくりパートナーシップ事業提案制度」を活用したテーマ設定型協働事業として、「オリピック・パラリンピックに向けた「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」運営事業（協働先：藤沢市東京オリピック・パラリンピック開催準備室）」を実施した。

ブース出展（8会場・延べ16日間）、1964年を振り返る映画上映会、参画プログラム説明会（2回）、アイデアソン（3月23日）及びアイデアソン準備会（3回）を実施し、応援団員登録の案内などオリパラ機運の盛り上げ活動を行った。応援団登録12,089名（目標数5,000～10,000）、アイデアソン参加（準備会含む）185名（目標数100）となった。

次年度（2019年度）は、藤沢市東京オリンピック・パラリンピック開催準備室と直接契約を結び、事業を継続して実施する予定。

- ①日時 2018年4月1日～2019年3月31日
- ②場所 団体事務所、各イベント会場等
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 一般市民、公益的な市民活動を行っている団体

キ かながわ人生100歳時代ネットワーク連携事業

企業で働いている現役世代に対し、「地域社会や市民活動等について理解を深め、人生設計について考えるきっかけ」を与えることを目的としたプログラム開発を神奈川県から委託され実施した。（「現役世代マルチライフ推進」支援プログラム業務委託）

藤沢市内企業であるアズビル（株）、オイレス工業（株）の2社に対し支援プログラムを作成。両社とも全体説明会等の実施後、フィールドワーク（市民活動団体へのボランティア体験）を行い、6名が市民活動団体の活動に参加をした。

- ①日時 2018年7月25日～2019年3月29日
- ②場所 アズビル（株）、オイレス工業（株）、体験先市民活動団体
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 一般市民、公益的な市民活動を行っている団体

（6）その他、この法人の目的を達成するために必要な事業（支出額 774,050円）

ア 災害復興支援事業

平成30年7月豪雨災害支援のため、寄附活動等の災害復興支援事業を実施した。緊急街頭募金（※）実施時には、サポートクラブメンバーや市民活動団体にご協力いただいた。（2018年7月29日実施）また、市民活動団体への呼びかけや、市民活動支援施設等での募金を行った。本事業の寄附金は全額、中央共同募金会の「平成30年7月豪雨災害 ボランティア・NPO活動サポート募金」に寄附した。※街頭募金のみ：97,105円、募金総額149,002円

参考：平成30年7月豪雨災害ボランティア・NPO活動サポート募金

https://www.akaihane.or.jp/saigai/2018_july_gouu/

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢駅南口、市民活動推進センター、市民活動プラザむつあい
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 被災地で活動している市民活動団体等

3 その他

ア 会議の開催（総会・理事会等）

理 事 会：2018年4月29日（日）、2018年6月17日（日）、
2018年7月1日（日）、2018年12月1日（土）

通常総会：2018年6月17日（日）